



教育の質保証に向けて ～学生の学習成果をどのように測るのか～

日時

平成29年8月4日(金)
13:00 - 17:00 (終了後懇談会あり)

場所

東洋大学白山キャンパス
125記念ホール



本学の教育改革をさらに前進させるためには、各教育組織が「教育の質的転換」を遂行するとともに、その実効性を測り、さらなる改善への道を探ることにあります。とりわけ学生の学習成果を測定し、その結果を改善につなげていくことが極めて大切です。

このことを踏まえ、平成29年度の学長フォーラムのテーマは、本学における学習成果の把握・評価の問題とすることにいたしました。このことは、教育活動における内部質保証システムとしてのPDCAサイクルにおけるCに焦点を当てることにより、本学の教育活動のさらなる充実を図ろうとするものであります。全学の教職員の皆様におかれましては、今年度の学長フォーラムを、本学が進めてきた教育改革のターニングポイントと捉えていただき、積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。

第1部 基調講演「組織的教育と重層的・多元的な学修成果 ～多様な学生をいかに成長に誘うか～」

濱名 篤 氏 (関西国際大学学長)



～濱名篤氏プロフィール～

関西国際大学学長、学校法人濱名学院理事長

国立教育政策研究所評議員、文部科学省中央教育審議会臨時委員、大学教育学会(常任理事)、初年次教育学会(常任理事)、日本高等教育学会(理事)

最近では、中央教育審議会大学分科会大学教育部会にて、「『卒業認定・学位授与の方針』『教育課程編成・実施の方針』及び『入学者受入れの方針』

の策定及び運用に関するガイドライン」の作成に貢献される。

第2部 本学の事例紹介～中長期計画を踏まえた今後の展開～

「経営学科における教育の質保証に向けた取り組み」

経営学部経営学科

「卒業論文総合評価システム、その他質保証に向けた取り組み」

食環境科学部食環境科学科

「『デザイン会議』『教室会議』を両輪としたアクティブラーニングの運営」

ライフデザイン学部人間環境デザイン学科

「コンピテンシー評価実施手法開発の取り組み」

総合情報学部総合情報学科

問い合わせ先：学長事務課 (Tel 03-3945-7500 e-mail:mlgaku@toyo.jp)



東洋大学

哲学とともに130年
130 years with philosophical mind